令和５年度（２０２３年度）八代高等学校シラバス

教　科	芸術	科　目	書道Ⅰ
学年・類型	１学年・全	単位数	２
教科書	高等学校　芸術科（書道）書Ⅰ（光村図書）		
副教材			
科目目標	⑴　書の表現の方法や形式、多様性などのついて幅広く理解するとともに、書写能力の向上を図り、書の伝統に基づき、効果的に表現するための基礎的な技能を身に付けるようにする。 ⑵　書のよさや美しさを感受し、意図に基づいて構想し表現を工夫したり、作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え、書の美を味わい捉えたりすることができるようにする。 ⑶　主体的に書の幅広い活動に取り組み、生涯に渡りわたり書を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、書の伝統と文化に親しみ、書を通して心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。		
学習方法	授業では、書作品の鑑賞や実技を中心に行います。 「課題を鑑賞する→臨書する→問題点を理解する→繰り返し技術を習得する→練習過程を振り返る」といった一連の過程で作品制作をします。 毎時間、真剣にそして積極的に取り組んでください。他者の作品を鑑賞、互評する活動も行います。 創作作品を制作する際は、自分を見つめ、今の自分を表現できるようにしましょう。 各単元後小テスト、各学期１回確認テストを行う予定です。		

評価の観点		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・書の表現の方法や形式､書表現の多様性について幅広く理解している。 ・書写能力を向上させるとともに､書の伝統に基づき､作品を効果的に表現するための基礎的な技能を身に付け、表している。	書のよさや美しさを感受し、意図に基づいて構想し表現を工夫したり、作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え、書の美を味わい捉えたりしている。	主体的に書の表現及び鑑賞の幅広い活動に取り組もうとしている。

評価方法		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
①　実技 ②　小テスト ③　ワークシート	①　実技 ②　鑑賞・互評カード ③　単元後の感想の内容 ④　作品構想カード	①　単元後の感想 ②　提出物 ③　授業への取組状況

各学期及び学年の成績算出方法について
観点別評価 　知識・技能　４０％ 　思考・判断・表現　３０％ 　主体的に学習に取り組む態度　３０％ 作品によっては２つの観点や１つの観点からのみ評価を行う場合もあります。

学期	学習内容	評価規準（到達目標Ｂ規準）と到達度チェック（自己評価）			評価方法
		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
1学期	鑑賞	【共通事項】 □ 用筆･運筆から生み出される書の表現性とその表現効果との関わりについて理解している。 □ 書を構成する要素について、それら相互の関連がもたらす働きと関わらせて理解している。 【知識】 □ 線質、字形、構成等の要素と表現効果や風趣との関わりについて理解している。 □ 日本及び中国等の文字と書の伝統と文化について理解している。 □ 漢字の書体の変遷、仮名の成立等について理解している。 □ 書の伝統的な鑑賞の方法や形態について理解している。	□ 作品の価値とその根拠について考え、書のよさや美しさを味わって捉えている。 □ 生活や社会における書の効用について考え、書のよさや美しさを味わって捉えている。	□ 主体的に幅広い鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	知② 知③ 思② 思③ 主① 主③
	楷書の学習 １顔氏家廟碑 ２牛橛造像記 ３楷書創作作品制作品 行書の学習 １蘭亭序	【共通事項】 □ 用筆･運筆から生み出される書の表現性とその表現効果との関わりについて理解している。 □ 書を構成する要素について、それら相互の関連がもたらす働きと関わらせて理解している。 【知識】 □ 用具･用材の特徴と表現効果の関わりについて理解している。 □ 書体や書風と用筆･運筆との関わりについて理解している。 【技能】 □ 古典に基づく基本的な用筆･運筆の技法を身に付けている。 □ 古典の線質、字形や構成を生かした表現の技能を身に付けている。	□ 古典の書体や書風に即した用筆・運筆、字形、全体の構成について構想し工夫している。 □ 意図に基づいた表現について構想し工夫している。	□ 主体的に漢字の書の幅広い表現の学習活動に取り組もうとしている。	知① 知② 知③ 思① 思② 思③ 思④ 主① 主③

2学期	行書の学習 ２風信帖	【共通事項】 □ 用筆･運筆から生み出される書の表現性とその表現効果との関わりについて理解している。 □ 書を構成する要素について、それら相互の関連がもたらす働きと関わらせて理解している。 【知識】 □ 用具･用材の特徴と表現効果の関わりについて理解している。 □ 書体や書風と用筆･運筆との関わりについて理解している。 【技能】 □ 古典に基づく基本的な用筆･運筆の技法を身に付けている。 □ 古典の線質、字形や構成を生かした表現の技能を身に付けている。	□ 古典の書体や書風に即した用筆・運筆、字形、全体の構成について構想し工夫している。 □ 意図に基づいた表現について構想し工夫している。	□ 主体的に漢字の書の幅広い表現の学習活動に取り組もうとしている。	知① 知② 知③ 思① 思② 思③ 主① 主③
	漢字仮名交じりの書 鑑賞	【共通事項】 □ 用筆･運筆から生み出される書の表現性とその表現効果との関わりについて理解している。 た表現の技能を身に付けている。 □ 書を構成する要素について、それら相互の関連がもたらす働きと関わらせて理解している。 【知識】 □ 線質、字形、構成等の要素と表現効果や風趣との関わりについて理解している。 □ 日本及び中国等の文字と書の伝統と文化について理解している。漢字の書体の変遷、仮名の成立等について理解している。 □ 書の伝統的な鑑賞の方法や形態について理解している。	□ 作品の価値とその根拠について考え、書のよさや美しさを味わって捉えている。 □ 生活や社会における書の効用について考え、書のよさや美しさを味わって捉えている。	□ 主体的に幅広い鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	知③ 思② 思③ 主① 主③

	漢字仮名交じりの書の学習 カレンダー制作	【共通事項】 □ 用筆･運筆から生み出される書の表現性とその表現効果との関わりについて理解している。 □ 書を構成する要素について、それら相互の関連がもたらす働きと関わらせて理解している。 【知識】 □ 用具･用材の特徴と表現効果との関わりについて理解している。 □ 名筆や現代の書の表現と用筆･運筆との関わりについて理解している。 【技能】 □ 目的や用途に即した効果的な表現の技能を身に付けている。 □ 漢字と仮名の調和した線質による表現の技能を身に付けている。	□ 漢字と仮名の調和した字形、文字の大きさ、全体の構成について構想し工夫している。 □ 目的や用途に即した表現形式、意図に基づいた表現について構想し工夫している。 □ 名筆を生かした表現や現代に生きる表現について構想し工夫している。	□ 主体的に漢字仮名交じりの書の幅広い表現の学習活動に取り組もうとしている。	知① 知② 知③ 思① 思② 思③ 思④ 主① 主② 主③

3 学 期	仮名の学習 鑑賞	【共通事項】 □ 用筆･運筆から生み出される書の表現性とその表現効果との関わりについて理解している。 □ 書を構成する要素について、それら相互の関連がもたらす働きと関わらせて理解している。 【知識】 □ 線質、字形、構成等の要素と表現効果や風趣との関わりについて理解している。 □ 日本及び中国等の文字と書の伝統と文化について理解している。 □ 漢字の書体の変遷、仮名の成立等について理解している。 □ 書の伝統的な鑑賞の方法や形態について理解している。	□ 作品の価値とその根拠について考え、書のよさや美しさを味わって捉えている。 □ 生活や社会における書の効用について考え、書のよさや美しさを味わって捉えている。	□ 主体的に幅広い鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	知② 知③ 思② 思③ 主① 主③
	１平仮名 ２連綿 ３蓬萊切	【共通事項】 □ 用筆･運筆から生み出される書の表現性とその表現効果との関わりについて理解している。 □ 書を構成する要素について、それらの相互の関連がもたらす働きと関わらせて理解している。 【知識】 □ 用具･用材の特徴と表現効果との関わりについて理解している。 線質や書風と用筆･運筆との関わりについて理解している。 【技能】 □ 古筆に基づく基礎的な用筆･運筆の技能を身に付けている。 □ 連綿と単体、線質や字形を生かした表現の技能を身に付けている。	□ 古筆の書風に即した用筆・運筆、字形、全体の構成について構想し工夫している。 □ 意図に基づいた表現について構想し工夫している。	□ 主体的に仮名の書の幅広い表現の学習活動に取り組もうとしている。	知① 知② 知③ 思① 思② 思③ 主① 主③